

矯正施設の防災・減災対策【法務省】

施策概要

矯正施設(刑務所、拘留所等)について、旧耐震基準施設の建替えを促進し耐震改修を進めるとともに、新耐震基準施設の長寿命化の検討を実施

効果

災害時における職員、被収容者の生命・身体の安全確保、被収容者の逃走等の未然防止

全国的な対策と効果

対策 全国の矯正施設における耐震改修や新営工事等の実施



5か年加速化対策の効果

令和元年以降の震度5以上の地震発生における効果

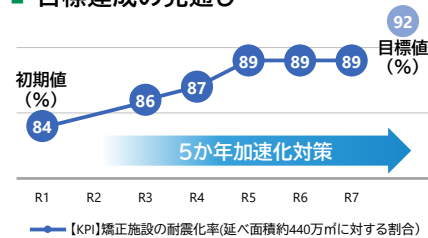
- | | | | |
|--------------|---------|--------|--|
| ① 令和6年日向灘地震 | 宮崎少年鑑別所 | 宮崎県宮崎市 | > 職員や被収容者の生命・身体に影響を与える被害なし
> 逃走等の保安事故なし |
| ② 令和6年能登半島地震 | 金沢刑務所 | 石川県金沢市 | |
| ③ 令和6年能登半島地震 | 富山刑務所 | 富山県富山市 | |

予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
157億円	105億円	139億円
R6	R7	累計
77億円	172億円	651億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

目標達成の見通し



整備事例

刑務所施設の耐震対策により、職員・収容者の安全を確保し、逃走等を防止する



法務省(高知刑務所)



高知県高知市



高知刑務所耐震改修工事

耐震ブレースの設置



地震等の大きな外力に備えるため、壁面に耐震ブレースを施工した。

耐震壁の設置



地震等の大きな外力に備えるため、外壁に耐震壁を施工した。

事業費

5.7億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)5.7億円)

事業の背景(地域の課題)

法務省が所管する矯正施設には、現行の耐震基準制定(昭和56年)以前に建築された施設が多数存在しており、これら施設の経年による老朽化が著しい状況にあり、高知刑務所も現行の耐震基準を満たしていない状況にありました。本施設が所在する高知県高知市は、最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合、震度6弱～震度7程度の強い揺れが想定されているため、早急に耐震基準を満たすよう、対策を講じる必要がありました。

事業の内容

本施設のうち、被収容者が生活する居室棟や、刑務作業を行う工場棟、渡り廊下など、現行の耐震基準を満たしていない複数の建物について、耐震ブレースや耐震壁の設置等、耐震改修工事を実施しました。これにより、本施設は現行の耐震基準を満たし、耐震性が確保されました。

見込まれる効果

本工事を実施したことで、南海トラフ地震等の大規模地震が発生した場合に、建物の倒壊などの被害を防ぎ、施設で勤務する職員や、被収容者の生命・身体の安全が確保されるとともに、地震の影響により、収容棟、工場棟など、収容区域における建物の被害が防止・軽減されることにより、被収容者の逃走などの保安事故が防止される見込みです。

人命・財産の被害最小化

激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

交通・インフラの維持

インフラの老朽化対策

施策のデジタル化

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

災害関連情報の高度化